

# 令和5年度の学校評価

## ア 自己評価結果等

<p>今年度の重点目標</p>	<p>今まで以上に安全で安心な学校づくりを目指す。そのためには、家庭や地域、企業との連携を図りながら推進する。また、生徒や保護者の夢を形づくるなど、3年間の学びを通して、社会から期待される生徒の育成や地域から愛される学校を目指す。</p> <p>(1) 生徒との好ましい人間関係をつくり、職員と生徒が一丸となって教育活動に取り組む。</p> <p>(2) 基礎・基本を大切に、スモールステップを踏むなど分かりやすい授業を実践すると共に、生徒の学習意欲を引き出すための授業改善に取り組む。</p> <p>(3) 基本的な生活習慣の確立を図り、全校生徒が自ら進んであいさつができるように、生徒を主体としたあいさつ運動の支援を行う。</p> <p>(4) 教育活動全般を通して、生徒が思いやりをもち、互いの個性を尊重しつつ周りの生徒と協力して行動できるように、生活指導を推進する。</p> <p>(5) 生徒を地域のイベントに積極的に参加させるなど、より多くの学びの機会を設け、活動を通して達成感や自己有用感などを体得させ、自ら進んで学ぶ姿勢を養う。</p> <p>(6) 工科高校として、時代と地域社会に即した教育の在り方について研究する。</p> <p>(7) 普段の教育活動や行事内容について、ホームページなどを積極的に活用して、家庭や地域社会に向けた情報発信に努める。</p> <p>(8) 安全衛生委員会などの既存組織を活用し、ワーク・ライフ・バランスに十分配慮し、職場環境を整えていく。さらに業務改善に向けた取組として「業務の見える化」を進め、業務を分担できる協働体制をつくる。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA諸活動をとおして、保護者に開かれた雰囲気づくりをする。</li> <li>防災訓練を通じ、生徒、職員の防災意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化祭をはじめとした校内諸活動を、できるだけコロナ前の元の形に戻す。</li> <li>防災訓練などを通じ、常日頃から防災について意識させる。また、関係各所と連携をとり、校内避難経路図等の整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA 行事の多くを、従前のスタイルで実施できた。しかしながら、全てを元に戻すことには長短両側面があることを認識した。次年度以降は「今」をよく見て、「次」に繋がる形をとっていきたい。</li> <li>他分掌と協力して、マニュアルや避難経路の再検討ができた。いち早く完成させ、周知徹底ができるようにしたい。</li> </ul>
<p>教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新教育課程の実施による本校の教務規定の見直しを行う。</li> <li>入試制度の改変に合わせて、校内業務との調整を図りながら入試業務を遂行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科・学科の意見を集約しながら、成績評価の方法や基準の見直しを進める。</li> <li>業務の停滞を招かないように、担任や関連分掌と連絡を取り合いながら効率的に進める。</li> <li>入試制度の改変による校内の入試要項の見直しを早めに行い、選抜委員会を経て、全職員に周知できるようにする。</li> <li>分掌内において、業務の分担を明確にして、平常の学校運営と入試業務を並行して進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新教育課程2年目として、各教科、学科から見直し案を集約することができた。</li> <li>業務の偏りが今年度見受けられた。業務の洗い出しをし、来年度に向けて効率化を図る。</li> <li>入試制度の改変による校内の入試要項の見直しができた。来年度に向けての課題も多く見つかったので、更なる改善を図る。</li> </ul>
<p>図書部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の図書館利用の減少を食い止める。</li> <li>図書館における教育活動の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力的な図書館のディスプレイや生徒が読みたいと思う新刊図書を整備する。</li> <li>生徒図書委員会や職員図書委員会を開催し、さまざまな教育活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書購入費が減額される状況の中で、魅力ある新刊図書の購入を行った。</li> <li>例年行っていた生徒図書委員会の活動を見直し、新たな委員会活動の方向性を定めた。</li> </ul>

<p>生徒指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会のルールやマナーの遵守、規範意識の確立</li> <li>・ いじめの早期発見と適切な事案対処</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校活動を通して、マナー、モラルを意識させ、社会の一員としてのルールの重要性和遵守を自覚させる。</li> <li>・ いじめの情報収集、事案対処の在り方について検証し、いじめの早期発見に努めるとともに適切な対処を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校マナーについては7月の全校集会以降、格段に向上した。2学期以降、近隣からの苦情はほとんどない。</li> <li>・ 今年度は、4、6、1月に交通事故が増加した。増加する時期を狙い早めに対策を講じるなど交通事故防止に努めたい。</li> <li>・ 問題行動が増加している。全体的に「みんなもやっているから」、「バレなければよい」と安易な考えで行動選択をしてしまう傾向がある。日頃から生徒一人一人との対話を大切に、丁寧に指導にあたりたい。</li> <li>・ 学期末アンケートや相談室来室をきっかけに、いじめ事案に早期に対応することができた。一人の教員がその状況を抱え込むことがないよう、学校全体で指導できる体制づくりに努めたい。</li> </ul>
<p>特活部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動や学校（生徒会）行事への積極的な参加を促す。</li> <li>・ 福祉・ボランティア活動を通して慈愛の心と社会人基礎力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年間の部活動の定着及び活性化を図る。</li> <li>・ 生徒会の行事が生徒主体で行えるように計画し支援する。</li> <li>・ 福祉・ボランティア活動を通して、地域に貢献できる生徒の育成を目指す。</li> <li>・ あいさつのできる社会人の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年と比べ、運動部文化部ともに大会等での入賞、上位大会への進出が多くみられる。定着から活性化へ進みつつある。</li> <li>・ 学校行事を生徒会役員が主体となり運営できている。生徒会役員の意見を取り入れて運営にあたっていきたい。</li> <li>・ 校内外のボランティアの取り組みができている。特に、校外のボランティアに積極的に参加する生徒が増えている。</li> <li>・ 2年連続であいさつ運動100回を達成することができた。来年度も継続したい。</li> </ul>
<p>進路指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育活動全般を通して正しい職業観・勤労観を育み、生徒の進路選択、進路実現の支援に努める。</li> <li>・ 選科の実施に当たり、生徒の将来設計を考えた選択ができるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担任を柱として、学科や職員との連携を深め、情報提供および情報交換を密にし、連携をした進路指導を目指す。</li> <li>・ 選科実施の当たり、学年会、学科主任、家庭科主任と協力をして分かりやすい資料作成や情報提供を実施し、選科作業を進め、選科の年間計画を確立させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面談情報を作成し、担任・学科主任との連携を図り、進路指導を充実させることができた。</li> <li>・ Teams を使用して、来校企業の一覧を作成し、企業のHPをリンクさせ、生徒への情報提供を行うことができた。</li> <li>・ 各学年への進路講話の充実を図り、学期に沿った進路指導を協力して実施できた。例年よりも多く学年への進路講話を実施し、キャリア教育の充実に努めた。</li> <li>・ 選科においては、保護者説明会を実施し、資料のペーパーレス化と共に面談時間を確保し、選科を行うことができた。</li> </ul>
<p>保健厚生部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣を確立させ、心身の健康を保ち自主的な健康管理が行えるようにする。</li> <li>・ 安全で清潔な環境整備に努め、学校全体で取り組む体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別・集団の保健指導を行い、健康に対する意識の向上を図る。</li> <li>・ 保護者、教員、関係機関が連携して生徒を支える体制を確立する。</li> <li>・ 生徒、職員の研修等を行い、学校安全に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内科による保健室来室件数が増加傾向にあり健康に対する意識の向上に努める。</li> <li>・ 生徒情報ファイルの内容をより充実させ生徒理解と対応に役立てることができた。</li> <li>・ 安全点検や研修を充実させることができた。</li> </ul>
<p>工務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格取得の推進</li> <li>・ ホームページ更新頻度を上げ、学校外への情報公開を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年会と連携し、資格取得を促す。学科と連携し指導を行い合格率の向上を図る。</li> <li>・ 情報化推進委員によるホームページ更新を進める。ホームページ更新の講習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Teams を利用して検定の過去問を生徒に提供した。また、計算技術検定や情報技術検定を再受検する生徒に対して補習を行うことで、合格者数が昨年度より向上した。</li> <li>・ ホームページのブログのページについてX（旧ツイッター）に移行させた。しかし、校内の教員への講習を行う事が出来なかったことが来年度の課題である。</li> </ul>

機械科	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全作業や基礎・基本の定着を図るとともに機械教育の探究に努める。</li> <li>地域社会に求められる人材の育成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や実習の単元ごとに目標の明確化を図り、テキストや資料のデジタル化を推進する。</li> <li>企業見学や、地域イベントへの参加を積極的に行い、企業からの要望や地域の声を集約し、授業や実習テーマについてキャリア教育の最適化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工実習を中心に、指導者マニュアルを作成し、作業の標準化と作業安全の共有を図る。</li> <li>課題研究とも連携させ、機械科について地域や近隣の中学生への理解を図ることができた。</li> </ul>
電子工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習や授業における安全指導と内容の見直し</li> <li>専門分野への学び力の向上を図る。</li> <li>広報活動の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全マニュアルを活用し、基本的な安全指導の徹底に加え、生徒の技量や興味・関心を捉え、作業手順や指導方法を見直す。</li> <li>事業所見学などを活用し、自己の進路実現に向けた学習意識を高め、資格取得に向けた提案やサポートを見直す。</li> <li>中学校訪問や学校説明会など外部への情報発信の充実と、校内生徒に向けた活動報告を発信していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細心の注意を元に、実習中にケガをさせることなく取り組むことができた。技量や関心を踏まえ、実習テキスト・安全マニュアルを更新させて、引き続き安全な実習を実施する。</li> <li>事業所の協力を受け、進路選択の幅が広がる意識付けができた。各学年に応じたキャリアサポートを次年度も実施したい。</li> <li>目で見えない電子電気の分野を、視覚的に理解やPRできる工夫をしていきたい。</li> </ul>
建築デザイン科	<ul style="list-style-type: none"> <li>確かな資質・能力を育み、キャリア教育を行う。</li> <li>実習を伴う授業での安全教育の充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を用いた授業を通し、生徒の興味関心を引き出すような授業を行うとともに、専門の資格取得や大学等のコンペ参加を目指す。</li> <li>事前に実習に伴う危険予知を行い、事故の予防に努める。また、安全マニュアルに基づいた安全作業の徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を活用した高大連携による授業展開を計画・実施することができた。生徒にとって貴重な時間となった。来年度も実施したい。</li> <li>実習において、危険予知トレーニングや安全マニュアルを活用した指導を徹底できた。安全指導について引き続き、徹底した指導を行っていきたい。</li> </ul>
環境科学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技を伴う授業において、安全作業の定着。</li> <li>資格取得の充実</li> <li>進路選択、進路実現のため、自ら学ぶ姿勢を養う。</li> <li>校外への情報発信の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険予知訓練指導の推進と基礎基本に基づいた作業の徹底を行う。</li> <li>検定・資格の指導内容の検討、補習の充実をする。</li> <li>職場見学、社会人講師の講話などを通じて、進路考察やキャリア教育を行う。</li> <li>中学校訪問、校外活動などを通じて、校外への情報発信を積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険予知トレーニングを行い、ヒヤリットを写真付きで掲示し安全意識を高め作業安全の共有を実施。</li> <li>2年生の資格取得の勉強環境を充実できた。より充実させたい。</li> <li>社会人講師の講話を充実させた。より多くの機会をつくっていきたい。</li> <li>環境科学などのイメージしにくい内容を分かりやすく伝えられるように工夫をしていきたい。</li> </ul>
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の定着と社会人基礎力の向上</li> <li>進路実現に向けてのキャリア教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間を守ることの必要性を考える機会を設ける。</li> <li>実行力、考え抜く力、チームで働く力など、社会人として必要な能力の向上を図る。</li> <li>進路を実現させるための自己分析と企業研究の機会を増やす。</li> <li>自己実現のために必要な学力・資質を考える時間を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年全体として概ね時間を守れる行動がとれている。引き続き指導を通じて、規範意識を育成していく。</li> <li>進路活動や行事を通じて社会人に向けて必要な力の育成ができた。</li> <li>進路実現に向け行動する姿が見られた。</li> </ul>

<p>2 年 学 年 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的生活習慣の定着</li> <li>・ 進路実現に向けてのキャリア教育の推進</li> <li>・ リーダーの育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5分前行動を習慣づけ、1年時からの遅刻数の減少、自ら率先して行う挨拶と身だしなみの向上を図る。</li> <li>・ 自己分析を通して、将来像を考えさせ、進路実現のために何をしたらよいのか、思考を深めさせる。</li> <li>・ 学校の中核を担う学年として、部活動や学校行事などに積極的に参加させ、主体的に動ける人材の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅刻数については、継続的に声掛けをしてきたが、昨年度からの改善を図ることができなかった。引き続き、進路とも関連付けて粘り強く指導していきたい。</li> <li>・ HR活動や進路講話、進路ガイダンスを通して自己の将来像について考えさせることができた。今後は、目標が具体化し行動が伴うように指導していきたい。</li> <li>・ 部活動や体育祭をはじめとした学校行事への取り組み状況には少し物足りなさを感じた。主体的に学校生活を送れるような手立てを考えたい。</li> </ul>
<p>1 年 学 年 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的生活習慣の確立を図る。</li> <li>・ 工科高校生としての自覚 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標設定をさせる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5分前行動や自ら挨拶することを心掛けさせる。</li> <li>・ 各教科学科と連携を図り提出物の有無や授業の取り組み状況について共有する。また、健康観察などから気になる生徒には迅速かつ密な連絡を家庭と図る。</li> <li>・ 各学科等と連携を図り、高校生活の中で資格取得や部活動、ボランティア等、目標をもって取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの生徒は、5分前行動を意識している。挨拶は運動部活動生を中心に意識的に取り組める生徒が増えてきたが、今後も継続した指導が必要である。</li> <li>・ 概ね良好であるが、提出物に対する意識が低い生徒もいる。今後も時間や提出期限を守る大切さを指導していき、確実な定着を図っていききたい。</li> <li>・ 学校で実施した検定の合格率は昨年度より上昇した。今後も、高校生活の中で資格取得や部活動、ボランティア等、目標をもって取り組ませていきたい。</li> </ul>
<p>総 合 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員と生徒が一丸となって取り組んだ成果として、令和5年度は、生活コースの連携事業、高大連携事業学科関連の校外学習などが挙げられる。さらに、生徒会の挨拶運動、部活動の全国大会出場（電子研究部の技能五輪出場、バレーボール部、ヨット部）など多くの取組でも成果が表れた。</li> <li>・ 基礎・基本を大切に授業改善の一つとして生徒用タブレットを使用した学習活動が定着した。</li> <li>・ 中学生向けの説明会や情報発信の機会を増やしたが、Web ページの積極的な活用が思うように進まず必要とされている情報提供や学校 PR が今後の改善すべき点となった。</li> <li>・ 各種業務の分担、業務改善が少しずつ進んでいる。職場環境を整えていくべきことが多いため、来年度以降もワーク・ライフ・バランスに十分配慮し業務を分担できる協働体制をつくる。</li> </ul>		